



DX(デジタルトランスフォーメーション)

DXハイスクールに認定されました

令和6年4月、本校は文部科学省の高等学校 DX 加速化推進事業(DX ハイスクール)に認定されました。全国で1010校が採択され、鳥取県では本校を含め8校が採択されています。数年前より GIGA ハイスクール構想により一人一台端末などの整備を進めてきましたが、DXハイスクールに採択されたことにより、より一層発展した取り組みができるようになります。

1. DX(デジタルトランスフォーメーション)とは?

DX(デジタルトランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用して製品やサービス、ビジネスプロセスなどを変革することにより新たな価値を創出する活動と言われています。学校現場における DX は授業内容の変革や新たな機材を用いた先進的な授業になると思われます。

2. DX 加速化推進事業(DXハイスクール)とは?

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化のために、「情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICT を活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する。」となっています。本校では大学での理工系学部への進学その他、専門学校や、地元企業への就職もあります。今後は多くの分野で AI やデータサイエンスなどのデジタルを活用できる人材が期待されています。

3. 支援対象の例

「ICT 機器整備(ハイスペック PC、3D プリンタ、動画・画像生成ソフト等)、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費等」などが対象になります。今後は高性能 PC や最新型のデジタル機材を授業や実習で使うことができるようになります。

4. 今後はどのような学校になるか

創立100周年を迎えた本校は県内の工業系の学校の中でも最も歴史があり、市内の利便性の高い場所に立地していることもあり、地元企業や地域の期待が非常に大きい学校です。世の中はますますデジタル技術の活用が増えることが予想されており、今回のDXハイスクールが採択されたことにより、今以上にデジタル化が促進され、学習や問題解決につなげていくことが必要だと考えます。そして将来的にはパソコンやスマートフォンをゲームやエンターテインメントの機材として使うだけでなく、日々の生活や現代社会が抱える様々な問題解決に繋げていく使い方をしていける人になってほしいと願っています。



【行事予定】 10日(月)：土木担い手事業外部講師授業(建設科土木コース)
12日(水)：人権教育LHR
13日(木)：球技大会
14日(金)：機械製図検定(一次)

